

令和6年度事業報告

一般財団法人観光まちづくり佐伯の実質的なスタートとなる令和6年度は、安定的な経営に細心の注意を払いながら法人組織運営体制の強化を図り、並行して母体となる株式会社まちづくり佐伯と一般社団法人佐伯市観光協会の清算手続きを進め、両法人とも滞りなく清算終了しました。

6月に新法人のこの先5年間の経営方針の指針である中期経営戦略を策定、7月に事業推進委員会を設立、9月には観光地域づくり候補法人（候補DMO）として登録され、地域の稼ぐ力を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成することを目指す「佐伯版DMO」としての第一歩を無事に踏み出すことができました。

事務局体制について、4月1日に全26名でスタートしましたが、地域商社機能の中核となる「さいき本舗城下堂」の強化を目指して10月1日に職員2名を新規採用し、組織体制を整備しました。

以上に加えて、佐伯市のツーリズム戦略及び市街地グランドデザイン等に関連する各種受託事業を確実に実施しながら独自事業をはぐくみ育て、また、地域事業者との連携によるまちづくりと観光誘客の推進を図るため、次のとおり事業を執行いたしました。

1. 重要な会議等の開催

（1）評議員会

○第1回評議員会

- ・ 日 時 6月25日（火）午後2時から
- ・ 議事等 令和5年度事業報告及び決算報告について
定款の変更（旅行業の追加）について
理事の選任について
規程（印章規程）の改正について

（2）理事会

○第1回理事会

- ・ 日 時 5月28日（火）午後2時から
- ・ 議事等 令和5年度事業報告及び決算報告について
定時評議員会について
中期経営戦略について
観光地域づくり法人登録申請について
規程（後援等承認規程）の決定について
(株)まちづくり佐伯の日本政策金融公庫借入金の債務引受けについて

○第2回理事会

- ・ 日 時 11月17日（木）午後3時から
- ・ 議事等 中間報告について（令和6年度上半期の業務執行状況）
補正予算について

規程（理事会規程、職員就業規程）の改正について

規程（財産取得等積立金規程、職員慶弔規程）の決定について

○第3回理事会

- ・ 日 時 3月21日（金）午後3時から
- ・ 議事等 令和6年度決算見込みについて
令和7年4月1日付け人事異動について
令和7年度事業計画及び予算について
観光地域づくり法人登録申請について

○書面による理事会決議

- ・ 8月27日（火） 特別有給休暇について（台風10号対応関連）
- ・ 1月17日（金） 佐伯市、株式会社タイミー、株式会社大分銀行との包括連携協定の締結について

（3）監事監査

○定時監査 5月14日（火）午前9時30分から

- ・ 第1期（令和5年度）事業執行及び会計の監査について
※決算決定手続きと税務手続きの手順に関する指摘

○中間監査 11月14日（木）午後2時から

- ・ 第2期上半期（令和6年4月～9月）事業執行及び会計の中間監査について
- ・ 監査会の進め方について
※年間2回（上半期、下半期）の監査会を実施することを決定
※臨時で監査が必要になる場合は、都度監査会を開催

（4）事業推進委員会

○第1回委員会

- ・ 日 時 7月4日（木）午後1時30分から
- ・ 議事等 委嘱状の交付
委員長及び副委員長の選任
中期経営戦略について
令和6年度事業計画及び予算について
観光地域づくり法人登録申請について
令和6年度中の事業推進委員会開催について

○第2回委員会

- ・ 日 時 8月21日（水）午後3時から
- ・ 議事等 観光統計（令和6年4月～6月）について
令和7年度佐伯市受託事業について
自主事業について

○第3回委員会

- ・日 時 10月29日（火）午前10時から
- ・議事等 観光統計（令和6年7月～9月）について
令和6年度上半期事業報告について
新たな食ブランディングの提案について
城下町エリアの活用について

○第4回委員会

- ・日 時 11月26日（火）午後1時から
- ・議事等 令和7年度佐伯市受託事業について

○第5回委員会

- ・日 時 1月16日（木）午後3時から
- ・議事等 自主事業の実績について
今後の事業推進委員会について

○第6回委員会

- ・日 時 3月18日（火）午後3時から
- ・議事等 新規事業について

（5）事務局内会議等

ア．コンプライアンス研修の実施

日 時：11月21日（木）午後3時から
テーマ：コンプライアンスの重要性とは
講 師：戸高精一郎氏（佐伯市総務部総務課職員係総括主幹）

イ．管理監督職員会議

毎週金曜日の午後3時からの開催を基本として、年間48回の管理監督職員ミーティングを開催しました。事務局内での情報共有や事業執行手法の検討のほか、理事会に提案する議事案の決定や事務局内部統制ルールの確認等を行いました。

ウ．経営企画会議

年間13回の会議を開催し、当初は中期経営戦略及び観光地域づくり候補法人登録申請の素案の策定を行いました。事業推進委員会設置以降は、主に委員会に提出する内容等に関する議論を行いました。

エ．人事評価

10月1日から人事評価制度を導入し、職員の育成と資質向上を図るとともに、その結果を職員任用の基礎資料として活用しました。

2．基本財産の状況 8,000,000円

設立時基本財産3,000,000円から5,000,000円を増額しました。増額の内訳は、佐伯市観光協会清算に伴う受贈金です。

創立費及び開業費（計1,125,741円）は特別償却し、基本財産に繰戻しました。

3. 観光地域づくり法人（登録DMO）の取組み

令和6年9月23日に候補DMO法人として登録されましたが、引き続き令和7年度上期の登録DMO認定に向けた取組みを進めます。

4. 公益法人化の検討

現行制度における財務上の認定基準等について、本法人が目指す方向性と必ずしも一致しないことから、当面は、公益法人化に関する手続きは行わず、引き続き制度に関する調査研究を継続します。

5. 利益相反取引に関する報告

利益相反取引の報告対象となる取引はありません。

理事個人又は理事が関与する法人等との取引がありますが、いずれも一般顧客や消費者等と同じ条件による物品の売却又は購入並びにサービスの提供又は利用でその契約規模も少額であり、かつ特別割引や特別保証等の便宜もございません。

6. 会員の状況

310会員

7. 関連団体等への入会状況

- ・佐伯商工会議所
- ・佐伯市番匠商工会
- ・佐伯市あまべ商工会
- ・公益社団法人佐伯法人会
- ・一般社団法人九州観光機構
- ・公益社団法人ツーリズムおおいた
- ・一般社団法人全国旅行業協会
- ・一般社団法人大分県旅行業協会
- ・大分県旅行業協同組合
- ・日本フットパス協会
- ・東中区

8. 佐伯市委員会等の職員派遣

市街地グランドデザイン推進協議会やさいきツーリズム戦略策定委員会をはじめとする佐伯市所管の19の委員会や審議会等に対し、延べ27名の職員を委員、監事、オブザーバー及び事務局員として派遣しています。

9. 令和6年度事業実施報告

(1) 自主事業

①さいき本舗城下堂事業

佐伯産品を中心にギフト商品やふるさと納税返礼品を企画及び販売を行い、特にECサイトによる取引の拡大を進めました。

(内訳)

・ふるさと納税返礼品販売額	2, 7 2 3, 3 5 0 円
・ECサイト販売額	1, 7 1 2, 5 1 5 円
・ギフト販売	2, 4 5 7, 5 1 6 円
・イベント販売等	4, 5 9 6, 8 4 7 円
計	1 1, 4 9 0, 2 2 8 円

※昨年度（旧法人。以下省略します。）実績は、1 4, 9 3 5, 4 2 5 円

②さいきレトリップ事業

城下町エリアにおいて「大正ロマン袴着付体験」事業を展開しました。また、インバウンド商品としての可能性を探るため、ツーリズムおおいたが実施する海外旅行事業者招請事業へのレトリップを核にした城下町エリアにおける体験事業の提案を行いました。

なお、令和7年度から海外向け営業事業は、佐伯市委託事業になります。

・販売実績 2 6 9 名 1, 1 4 4, 9 0 0 円

※昨年度実績は、7 2 8, 1 0 0 円。

・メディア等招請 1 0 月 2 2 日（香港インフルエンサー）
1 2 月 1 8 日（台湾旅行会社F AMトリップ）
1 月 2 0 日～2 1 日（韓国ブロガー）

・海外向け営業 1 2 月 1 8 日 ミニ旅行商談会（別府市）
2 月 1 3 日～1 6 日 香港現地セミナー及び旅行会社セールス

③お土産物開発販売事業

各種グッズの企画開発を進め、観光案内所や観光交流館等で販売しました。

(内訳)

・観光交流館（菓子、飲料等）	1, 5 5 8, 1 7 0 円
・観光案内所（最東端証明等）	3 0 9, 4 6 8 円
・その他（ねこ図鑑等）	1, 3 6 2, 0 1 8 円
計	3, 2 2 9, 6 5 6 円

※昨年度実績は、2, 7 8 3, 9 6 5 円

④レンタサイクル事業

観光案内所及び観光交流館に設置しているレンタサイクル及び佐伯市が所有するEバイクの利用促進を図りました。

(内訳)

・レンタサイクル（法人所有） 8 6 0 件 6 1 9, 5 0 0 円

・ Eバイク（佐伯市所有）	279件	564,000円
計		1,183,500円

※昨年度実績は、486,450円

⑤ J R九州観光列車おもてなし事業

「36ぷらす3」の重岡駅停車時、「ななつ星」の佐伯駅停車時にマルシェを開催し、物販販売並びに観光案内を行いました。また、九州旅客鉄道株式会社（以下「J R九州」とします。）が8月から開始した毎月第2土曜日の直川駅付近での「沿線お見送り」について、地域住民等への周知や法人職員参加、情報発信等の協力を行いました（7回実施、約230人の参加）。

（内訳）

・ ななつ星ガイド料（J R九州）	494,024円
・ ななつ星マルシェ販売	864,706円
・ 36ぷらす3おもてなし（J R九州）	407,000円
計	1,765,730円

※昨年度実績は、2,109,820円

※「36ぷらす3」は、別途道の駅字目がマルシェを実施

⑥ 浦100ツーリズムによる地域再生事業

さいきオーガニックマルシェにおいて、山の生物をモチーフにしたキーホルダーや鹿革を材料にしたアクセサリーの製作体験ブースを設置しました。また本事業の連携先である西日本高速道路株式会社が実施する同社社員の学びのプログラムモニターツアーを宇目地域において実施したほか、福岡市内の商業施設で同社と九州産業大学との共同により期間限定のアンテナショップを設置しました。

※一般財団法人国土計画協会支援事業（3か年事業のうち1年目）

（2）受託事業

① 駅前駐車場公金収入及び観光案内所業務

駐車場使用料を2,176,550円（15,481台）収入し、佐伯市に納付しました。観光案内業務について、年間来所数は9,325人（昨年度8,626人）、電話問合せ数は2,989件（昨年度3,367件）でした。

② 観光交流館観光案内業務

来館者数は19,230人（昨年度17,154人）で、うち市外からの来館は7,799人でした。市との連携による「城下町さいきひなめぐり」イベント、「さいきレトリップ」事業や物販事業を積極的に展開したことが来館者数の増に貢献いたしました。

③ 大手前情報発信館管理業務

施設の清掃と施設管理業務のほか、掲示版（ポスター、チラシ類）及びデジタルサイネージ、パンフレットラックによる情報発信業務を行いました。

掲示板等許可件数：ポスター掲示数１９件、チラシ１５件、パンフレット２件、デジタルサイネージ４４件

④国内誘客推進事業

食、自然、体験、歴史文化等幅広い素材を活かし、企画ツアー商品の造成や公共交通事業者との連携事業、広域連携による誘客事業、食のフェア事業等を次のとおり展開し、国内誘客の推進を図りました。

[グループ誘客事業推進補助金]

会員を中心とした市内事業者がグループを組織して実施する観光誘客の取組みに対し助成金を交付しました（７グループに２，８６６，０００円を交付）。

[観光商談会参加事業]

ツーリズムおおいたをはじめとする各種団体が主催する各地で開催される商談会に参加しました。

[統計調査事業]

市内観光施設及び観光施設の来客数統計の集約、分析に加えて、来訪者へのアンケート調査及び事業者へのアンケート（ヒアリング含む）調査を実施、分析を行いました。その結果を今後の誘客事業に活用いたします。

[日本さかな検定事業]

一般社団法人日本さかな検定協会が主催する日本さかな検定の誘致事業を実施しました（本誘致事業は令和６年度で終了）。

[３６ぷらす３チャーター事業]

宗太郎駅と重岡駅に停車する３６ぷらす３について、特別運行便の佐伯駅停車を誘致し、中心市街地での周遊を促すとともに、通常便とは視点を変えたおもてなしを実施しました。

- ・６月１日　　１回目の停車（全国各地から９５名の参加）
- ・１１月１日　２回目の停車（全国各地から６４名の参加）

[ナイトタイムエコノミー造成事業]

宿泊客をターゲットに、事業に参加する新町通りのスナックで使用可能な割引チケットを販売し、いわゆる“２次会消費”の拡大を図ります（事業期間は５月３１日まで）。

[企画ツアー商品造成事業]

九州都市部や関西地方等を出発して佐伯市を目的とする団体ツアーを主催する旅行会社等にツアー支援金を支給することで、来訪者と宿泊者の増加を図りました。

- ・日帰りツアー　支給件数８０件、送客人数２，１３９人
※昨年度実績は、８８本、２，６３４人
- ・宿泊ツアー　　支給件数７件、送客人数１１１人

※昨年度実績は、1本、18人

[四季を通じた食のフェア事業]

四季を通じた食のキャンペーンを実施することで、切れ目のない誘客事業を展開し、「食」による観光誘客並びに域内消費の拡大を図りました。

- ・日豊海岸岩ガキまつり（5月1日～8月31日）

実食数6,242食(昨年度8,787食)

延岡市、日向市、門川町との広域連携事業を兼ねております。

- ・東九州伊勢海老海道（9月2日～12月1日）

実食数10,345食（昨年度13,266食）

延岡市との広域連携事業を兼ねております。

- ・佐伯あったか鍋フェア（12月7日～2月9日）

実食数1,863食

昨年度は「さいき食の七福めぐり」を実施（実食数7,057食）

- ・まぐろフェア～紅白対決～（2月8日～4月13日）

実食数10,664食（昨年度13,377食）

実食数は3月31日まで分です。

[広域連携事業]

前述の宮崎県北地域の市町との連携のほか、大分県内各市等と連携した誘客事業を実施しました。

- ・臼杵市及び津久見市と「日豊海岸ツーリズムパワーアップ協議会」を組織し、3市連携による日豊海岸どんぶり街道事業やメディア等プロモーション活動を行いました。

- ・別府市旅館組合との連携による「別府から佐伯行こう～別府で温泉、佐伯で海鮮～」事業を実施し、1,313人の利用（500円チケット枚数6,567枚）がありました。

※昨年度は、1,083枚のチケットを換金

- ・西日本高速道路株式会社との連携による「まち推しグルメ」を実施し、チケット利用5,523枚（金額2,761,500円）の利用がありました。

※昨年度は、5,444枚の利用

- ・令和7年度以降の具体的な連携事業実施に向けて、由布市関係者（行政、宿泊施設、まちづくり観光公社）を招請したモニターツアーを実施しました。

[その他]

上記のほか、自衛隊誘客事業（サマーフェスタ、さいき桜まつり特別寄港誘致）やさいき観光ガイドの会事務補助事業等を受託し、実施いたしました。

⑤観光情報発信事業

次の5つの事業により、佐伯市のイベント情報、観光スポット情報及び各種キャンペーン事業に関する情報発信を行いました。

[観光情報発信等コーディネート事業]

法人公式SNSアカウントにより定期的な情報発信を実施

- ・Instagramフォロワー数 5,264件
- ・Facebookフォロワー数 2,855件

[ホームページ管理事業]

法人公式ホームページ（観光ナビ）により観光情報等を発信

- ・年間アクセス数 475,760件（別途「まちづくりサイト」あり）

[ポスターグッズ等デザイン事業]

各種キャンキャンペーン事業等の広報にかかるポスター等デザインを作成

[観光パンフレット管理事業]

アクティブトリップや観光マップ等の編集制作（追加を含む）及び在庫の管理。

市街地エリアの飲食店等に限定されていた「佐伯まち歩きガイド」について、市内全域に拡大し、新規に発行

[広告媒体情報発信事業]

株式会社テレビ大分の「ゆ〜わくワイド&News」と連携した情報発信を実施

⑥ JRディステーションキャンペーン（JRDC）に向けた誘客事業

JR九州が令和6年4月から6月にかけて展開した「福岡・大分ディステーションキャンペーン」に併せた誘客事業を実施しました。

なお、本事業は令和6年度限定事業です。

- ・佐伯港街バル事業「春の佐伯港街バル」
5月18日に葛港埠頭（佐伯魚市場周辺）において実施
約4,200人の来場
- ・佐伯港エリア活性化事業（アフターDC事業）
12月22日に佐伯港街スイーツミニマルシェを開催
併せて佐伯港街スタンプラリーを実施

⑦ 自転車活用推進事業

佐伯市が進めるサイクルツーリズムに関する各種情報発信を行うとともに、JR九州が運行するサイクルトレイン（毎月第2土曜日）の佐伯駅停車に併せたライドイベントや宿泊ライドイベント、宇目地域のマウンテンバイクコースでのライドイベント等を実施しました。

- ・月1ライドイベント（毎月第2土曜日） 184名参加
- ・サイクルロゲイニング（11月10日） 36組92名参加
- ・マウンテンバイクライドイベント（2月23日） 12名参加
- ・宿泊ライドイベント（2月15日～16日） 6名参加

⑧ クルーズ船誘客事業

9月28日の「飛鳥Ⅱ」、1月8日の「にっぽん丸」の女島ふ頭寄港に併せて、各種歓迎行事の実施やマルシェ出店を行うとともに、乗船客向けの現地ツアーを企画提案しました。

- ・飛鳥Ⅱ

- 初寄港記念式典の開催
 - お出迎え及びお見送り行事
 - 各種ステージ行事
 - さいき本舗城下堂出店
 - 市内店舗買物用商品券の発行
 - 市内循環無料シャトルバスの運行
 - 寄港地観光ツアー

- ・にっぽん丸

- お出迎え及びお見送り行事
 - 各種ステージ行事
 - さいき本舗城下堂出店
 - 寄港地観光ツアー
 - ディナー食材（大分県産品）の販売

⑨市街地人と仕事創造事業

市内における起業創業の支援や事業者の魅力発信、市民団体の交流促進等を次のとおり実施しました。

- ・起業創業支援

- まちなか開業サポートセンターで10件の相談対応を行うとともに、新たな資金確保手法であるクラウドファンディング説明会を2回開催し、23名の参加がありました。また、まちづくり交流倶楽部の活動拠点に関する調査研究を行いました。

- ・特産品の開発と販売促進

- 市内事業者との連携による佐伯産品の企画開発を進め、新商品として8商品を開発しました。また5商品の開発を継続中で、そのうち佐伯豊南高校の生徒と市内事業者との連携による未利用魚を活用したふりかけ「ふかちゃん・かつおくん」の試験販売をさいき桜まつりの当法人ブースで展開しました。

- そのほか「さいきフェア in 博多駅」を10月と2月に開催、オーガニックマルシェを7月、11月、2月に開催し、ほかにも市内外で開催される各種イベントに城下堂販売ブースを展開し、佐伯産品と市内事業者に関する情報発信を行いました。

- ・Webを活用した市内事業者の魅力発信

- 公式ホームページとSNSを活用しての発信のほか、電子商取引による販売促進のため、さいき本舗城下堂のECサイト及びふるさと納税返礼品を活用した販

売事業を展開しました。

⑩チャレンジショップ事業

1号店（飲食事業用、2年間）、2号店（各種サービス事業用、1年間）店舗を開業計画中の者に低廉な賃借料で貸出し、店舗等経営に関する経験値を蓄積します。加えて、佐伯商工会議所経営指導員の定期的な経営指導を受けることで経営に関する知見を高め、もって、地域商業及びサービス業の担い手育成を図りました。

- ・1号店 カフェ経営（令和5年7月から令和7年7月まで）
- ・2号店 リラクゼーションサロン経営（令和7年3月から令和8年2月まで）

⑪地域産業教育促進事業

中学生、高校生を対象とするビジネスマナーの講習会やセミナーを開催し、社会で求められるコミュニケーション能力等の向上を図りました。併せて市内の生徒や児童の企業見学体験学習を行い、地域企業に関する理解を深めました。

なお、本事業は、令和6年度末をもって終了いたしました。

- ・高校生向け講演会 3月12日、日本文理大学附属高校2年生（184名）
- ・中学生向け講演会 5月29日、直川中学校2年生（10名）ほか
※全9回、522名の参加
- ・小学生向け講演会 9月3日、松浦小学校5年生、6年生（22名）
11月15日、上野小学校5年生（18名）
- ・企業見学体験学習 4月23日、切畑小学校4年生（14名）ほか
※全42回、1,368名の参加

⑫食のまちづくり推進事業

さいき城山桜ホールキッチンコートを活用した食育ワークショップを開催するほか、市内の各種団体の食育活動支援や市が季節ごとに発行する「桜だより」の食育ページの企画及び原稿作成作業を行いました。

食育ワークショップについては、「郷土料理」、「地元食材」、「佐伯に縁がある講師」をテーマに年間23回開催し、323名の参加がありました。特に昨年度は、佐伯市あまべ商工会との連携により“美人鰯”と“アジ”をテーマとするワークショップを新たに開催することで内容の充実を図りました。

10. 中期経営戦略（令和10年度末目標）の進捗状況

以上のとおり事業を執行した結果、中期経営戦略に掲げる各目標指標の進捗状況は、次のとおりとなりました。

中期経営戦略 進捗状況

※下段は目標値

指標		基準値 (令和5年度)	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
誘客機能	宿泊客数	121,471人	139,036人	***	***	***	***
			127,544人	133,921人	140,617人	148,000人	155,400人
	顧客満足度	76.2%	宿泊86.7% 一般91.0%	***	***	***	***
			77.7%	79.2%	80.7%	82.3%	84.0%
	観光消費単価 (1人あたり)	4,392円 ※食フェア	5,527円	***	***	***	***
			4,611円	4,841円	5,083円	5,337円	5,603円
		基準値なし ※来客調査	11,057円	***	***	***	***
リピーター率 (80%以上維持を目標)	78%	宿泊86.7% 一般91.6%	***	***	***	***	
商品開発	ECサイト・ふるさと 納税返礼品売上額	370万円	444万円	***	***	***	***
			462万円	578万円	722万円	903万円	1,000万円
	佐伯産品開発累積数 (年間新規3件以上)	7件	10件 (+3)	***	***	***	***
			10件	13件	16件	19件	22件
	着地型商品開発累積数 (年間新規1件以上)	7件	11件 (+4)	***	***	***	***
			10件	15件	18件	19件	20件
	食キャンペーン実食数	42,487食	29,114食	***	***	***	***
情報発信	WEBサイト アクセス数	370,380件	493,613件	***	***	***	***
			45万件	55万件	67万件	82万件	100万件
	SNSフォロワー数	9,344人	9,179人	***	***	***	***
			9,811人	9,909人	10,404人	10,924人	11,470人
	SNSリーチ数	970,319件	1,095,788件	***	***	***	***
			102万件	107万件	112万件	118万件	123万人
	広報戦略策定・運用	—	準備	***	***	***	***
準備			策定	運用・修正	運用・修正	運用・修正	
連携	会員事業者数	150会員	310会員	***	***	***	***
財務基盤	新規自主事業件数 (年間新規1件以上)	4件	5件 (+1)	***	***	***	***
			5件	6件	7件	8件	9件
	事業費支出割合	83.3%	87.9%	***	***	***	***
			77%以下	70%以下	70%以下	70%以下	70%以下
	新規管理施設提案累積数 (2年に1件以上)	0件	0件	***	***	***	***
			1件	1件	2件	2件	3件
	経営指標の課題	基本的収入割合 (目標：30%以上)	16.3%	22.3%	***	***	***
基本的収入金額 (4,500万円以上)		2,491万円	3,660万円	***	***	***	***
外部委託費削減 (1,947万円以下)		2,781万円	2,225万円	***	***	***	***
時間外勤務削減 (800時間以下)		1,639時間	584.5時間	***	***	***	***

決 算 報 告

貸借対照表

令和 7年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	5,811,669	1,821,225	3,990,444
売掛金	489,888		489,888
未収金	19,452,090		19,452,090
前払金	348,420		348,420
棚卸資産	2,082,968		2,082,968
流動資産合計	28,185,035	1,821,225	26,363,810
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
普通預金(労金)	8,000,000		8,000,000
基本財産合計	8,000,000		8,000,000
(2) 特定資産			
財産取得等積立金	3,791,965		3,791,965
特定資産合計	3,791,965		3,791,965
(3) その他固定資産			
建物	1,963,377		1,963,377
建物附属設備	605,899		605,899
什器備品	164,064		164,064
創立費		249,836	△ 249,836
開業費		875,905	△ 875,905
敷金	130,000		130,000
保証金	367,000		367,000
出資金	30,000		30,000
入会金	900,000		900,000
その他固定資産合計	4,160,340	1,125,741	3,034,599
固定資産合計	15,952,305	1,125,741	14,826,564
資産合計	44,137,340	2,946,966	41,190,374
II 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	1,184,668		1,184,668
未払金	16,132,151		16,132,151
前受金	466,222	20,000	446,222
預り金	33,288	4,966	28,322
未払法人税等	1,852,300	5,800	1,846,500
未払消費税等	2,765,300		2,765,300
流動負債合計	22,433,929	30,766	22,403,163
2. 固定負債			
長期借入金	4,390,000		4,390,000
固定負債合計	4,390,000		4,390,000
負債合計	26,823,929	30,766	26,793,163
III 正味財産の部			
1. 基金			
基金		3,000,000	△ 3,000,000
2. 指定正味財産			
寄付金	8,791,965		8,791,965
指定正味財産合計	11,791,965		11,791,965
(うち基本財産への充当額)	8,000,000		8,000,000
(うち特定資産への充当額)	3,791,965		3,791,965
3. 一般正味財産			
(1) 代替基金			
(2) その他一般正味財産	5,521,446	△ 83,800	5,605,246
一般正味財産合計	5,521,446	△ 83,800	5,605,246
正味財産合計	17,313,411	2,916,200	14,397,211
負債及び正味財産合計	44,137,340	2,946,966	41,190,374

正味財産増減計算書

令和 6年 4月 1日から令和 7年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
事業収益	26,075,130		26,075,130
受取家賃	515,000		515,000
受取負担金	3,599,811		3,599,811
販売収入	9,446,631		9,446,631
城下堂収入	11,490,228		11,490,228
特別会費(伊勢海老)	42,000		42,000
特別会費(岩ガキ)	18,000		18,000
イベント事業収益	963,460		963,460
受取補助金等	136,468,545		136,468,545
受取委託金	127,836,767		127,836,767
受取補助金	8,631,778		8,631,778
受取寄付金	1,120,159		1,120,159
雑収益	114,813		114,813
受取利息	18,424		18,424
経常収益計	163,797,071		163,797,071
(2) 経常費用			
事業費	136,463,138		136,463,138
給料手当	42,906,384		42,906,384
賞与	5,985,090		5,985,090
賃金	51,800		51,800
法定福利費	6,704,956		6,704,956
福利厚生費	873,208		873,208
旅費交通費	4,485,333		4,485,333
通信費	2,036,851		2,036,851
販売購入費	9,002,124		9,002,124
消耗品費	5,354,660		5,354,660
会議費	21,750		21,750
印刷製本費	119,715		119,715
光熱水料費	554,099		554,099
賃借料	10,606,099		10,606,099
交際費	382,292		382,292
広告宣伝費	4,047,359		4,047,359
販売促進費	6,826,530		6,826,530
租税公課	2,942,898		2,942,898
支払手数料	2,690,010		2,690,010
諸会費	39,000		39,000
諸謝金	3,000		3,000
委託金	22,249,429		22,249,429
支払助成金	6,915,200		6,915,200
保険料	716,444		716,444
修繕維持費	444,417		444,417
雑費	504,490		504,490
管理費	18,656,702	78,000	18,578,702
役員報酬	511,500		511,500
給料手当	5,523,722		5,523,722
賞与	2,039,592		2,039,592
法定福利費	3,870,376		3,870,376
福利厚生費	323,308		323,308
旅費交通費	361,850		361,850
通信費	168,891		168,891
消耗品費	622,915		622,915
印刷製本費	17,300		17,300
光熱水料費	130,582		130,582
賃借料	870,245	78,000	792,245
交際費	29,840		29,840
広告宣伝費	50,600		50,600
租税公課	99,234		99,234
支払手数料	560,263		560,263
諸会費	267,575		267,575
保険料	92,728		92,728
修繕維持費	75,378		75,378
減価償却費	1,838,738		1,838,738
繰延資産償却費	1,125,741		1,125,741
雑費	76,324		76,324
支払利息	51,763		51,763
経常費用計	155,171,603	78,000	155,093,603
評価損益等調整前当期経常増減額	8,625,468	△ 78,000	8,703,468
評価損益等計			

当期経常増減額	8,625,468	△ 78,000	8,703,468
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計			
(2) 経常外費用			
固定資産減損損失	1,167,922		1,167,922
法人税等	1,852,300	5,800	1,846,500
経常外費用計	3,020,222	5,800	3,014,422
当期経常外増減額	△ 3,020,222	△ 5,800	△ 3,014,422
当期一般正味財産増減額	5,605,246	△ 83,800	5,689,046
一般正味財産期首残高	△ 83,800		△ 83,800
一般正味財産期末残高	5,521,446	△ 83,800	5,605,246
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	8,791,965		8,791,965
一般正味財産への振替額	3,000,000		3,000,000
当期指定正味財産増減額	11,791,965		11,791,965
指定正味財産期首残高			
指定正味財産期末残高	11,791,965		11,791,965
III 基金増減の部			
基金受入額	△ 3,000,000	3,000,000	△ 6,000,000
当期基金増減額	△ 3,000,000	3,000,000	△ 6,000,000
基金期首残高	3,000,000		3,000,000
基金期末残高		3,000,000	△ 3,000,000
IV 正味財産期末残高	17,313,411	2,916,200	14,397,211

財産目録

令和 7年 3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)	現預金	手元保管現金	運転資金として	759,585
	現預金	釣銭用保管現金		98,600
		駅前案内所	釣銭用	10,000
		交流館	釣銭用	20,000
		36ぶらす3	釣銭用	22,000
		ななつ星	釣銭用	46,600
		普通預金(大分銀行)	運転資金	2,711,251
		大銀普通(収益)	運転資金として	933,120
		労金(支払用)	運転資金として	1,195,568
		郵貯(収益)	運転資金として	112,350
		普通預金(労金・基)	運転資金として	1,045
		普通預金(労金・財)	運転資金として	150
	売掛金		ふるさと納税他3月売上分	489,888
	未収金		大分県南部振興局補助金他	19,452,090
	前払金			348,420
	棚卸資産			2,082,968
流動資産合計				28,185,035
(固定資産)	基本財産			
	普通預金	九州労働金庫	基本財産として保有している	8,000,000
	特定資産			
	財産取得等積立金	九州労働金庫	財産取得目的の積立金として保有している	3,791,965
	その他固定資産			
	建物			1,963,377
	建物附属設備			605,899
	什器備品			164,064
	敷金			130,000
	保証金	旅行業協会・JR九州		367,000
	出資金	大分県旅行業協同組合		30,000
	入会金	旅行業協会		900,000
固定資産合計				15,952,305
資産合計				44,137,340
(流動負債)	買掛金		3月販売仕入分	1,184,668
	未払金		R6年度事業費支払分	16,132,151
	前受金			466,222
	預り金			33,288
	雇用保険			23,158
	その他			10,130
	未払法人税等			1,852,300
	未払消費税等			2,765,300
流動負債合計				22,433,929
(固定負債)				
	長期借入金	日本政策金融公庫	情報発信館他設備費用	4,390,000
固定負債合計				4,390,000
負債合計				26,823,929
正味財産				17,313,411